

(23) 2月12日(土) 平成23年(2011年)  
(第三種郵便物認可)

## 市民タイムス



# 中・高・大 学校越え交流

## 信大、志学館、秀峰が発表会

年齢や学校の垣根を越えて学び合うことで、学習への理解を深め、豊かな人間形成を図ろうと、信州大学人文学部、塙尻活動の成果を披露する初

めてのフォーラム「中高大でseka-i(せかい)を考える」が11日、松本市内で2日間の日程

で始まり、中学生、高校生、大学生が交流の中で見つめた「世界」について発表し合っている。

初日は中央1のMウイ

ングで信大と秀峰中等教

育校の発表があった。人

文学部英語学専攻の学生

と秀峰の1期生に当たる

中学1年生は昨秋から、

総合学習や「外国語部」

の部活動で共に学習しており、秀峰の生徒がその成果を披露した。世界の自然や文化の多様性を理解するために調べた、韓国と日本の料理の違いを

説明し、米国、英国、日本

の遊園地事情を地理や

文化の違いから指摘し

た。

客席で聞いた信大3年

の青木佳萌さん(21)は

「彼らの発表がうまくい

くか心配だったが、理解

を深めて上手にまとめて

いた」と成長を喜んだ。

信大人文学部と秀峰が

昨年9月に連携協定を結

んだ縁でフォーラムが企

画され、以前から信大と

交流のあった志学館高校

も加わった。人文系の花崎美紀准教授は「時間

を共有し、教え合うこと

が、無限の可能性を秘め

た若い世代の力になる」

大学生との交流を通して深めた学習の成果を発表する秀峰の生徒たち

と話している。12日はまる。午前10時半から午後  
つもと市民芸術館で志學館高と信大の発表があ  
0時半まで。  
(有賀文香)